

# Project Management Training Course 2018 in Jakarta

1. 日 時 2018年11月6日(火)、7日(水)
2. 場 所 ジャカルタ市内 グランドクマンホテル内会議室
3. 参加人数 36名(うち、会員企業34名、非会員企業2名)
4. 講 師 三浦 進 氏 (東洋エンジニアリング)
5. 概 要

- 7回目となる今回は、日本大使館、ジェトロ、ジャカルタ日本クラブ (JJC)の後援を得てメールマガジン等で幅広く広報したこともあり、7社の初参加を含めて18社36名(去年は9社19名)が参加し、インドネシアでの研修開始以来最多となった。
- 参加者は建設関係が6社13名、続いてエンジニアリング専門が4社9名、商社が4社6名、電気機器1社3名、資源開発とコンサルが各1社2名、損保が1名となった。年齢は25歳から52歳まで幅広く、日本人の参加者が6名となった。
- 開講式には、在インドネシア日本大使館の宮下経済公使が出席し、本PMセミナーの意義と日尼間の経済関係の深化を歓迎する旨の挨拶をされた。
- 講義の冒頭で三浦講師から、わからないことは是非質問してほしいとの投げかけを行ったところ、初日の午前中から多くの参加者から次々と質問が寄せられ、一体感と活気のある講義となった。
- グループワークではマイホームプロジェクトをテーマにWBS (Work Breakdown Structure) を議論。各グループで活発な意見交換、グループ別の発表が行われた。
- 5%台の成長が続くインドネシアは、ゼネコン関連業務はピーク時に較べて一息ついた感はあるものの、各種インフラへの堅調な需要があり、現地日系企業の当コースへのニーズは大きい。

